

行政財産目的外使用並びに土木工事施工許可申請書

平成 △△ 年 ○○ 月 ×× 日

(あて先) 富士市長 小長井 義正

申請者 住所 **申請者の住所**
氏名 **代表者氏名** ㊤

(代理人連絡先) **代理人氏名、連絡先の記入**
法人の場合会社名も記入

次の通り行政財産目的外使用並びに土木工事施工をいたしたいので富士市行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例並びに富士市公有財産規則及び許可条件等を遵守いたしますからご許可下さるよう申請いたします。

1 道路又は河川の種類及び名称	(例) 道路：農道○○○○号線 認定外農道 河川：無名河川
2 使用地先の道路又は河川の種目	(例) 道路：アスファルト舗装等 河川：現場水路等
3 使用箇所	富士市 字 番地 地先
4 使用の目的	(例) 電柱の新設、通行路橋の設置 等
5 使用面積又は本数	(例) 本柱 1本、支線 1条 通行路橋 A=○○㎡ 等
6 使用物件の構造	(例) コンクリート柱ワイヤー支線 コンクリート床版 等
7 使用料金	ご指定のとおり(¥ ○○ 円也)
8 使用期間	(例) 27年 7月許可日から 37年 3月31日まで 10年間 最大10年間の 年度末まで
9 使用に伴う道路工事の有無	道路工事が存在する場合は有
10 工事期間	(例) 27年 7月許可日から 27年10月30日まで 4ヶ月間 工期は余裕をも つこと
11 工事実施の方法	(例) 直営 請負 等
12 道路の復旧方法	原状に復旧

※ 申請時には、写真等を必ず添付して道路舗装の種類を調査しておくこと

注意事項

◎提出部数は2部とする。

◎申請書提出してから許可がおりるまで1～2週間程度要する。

- ・あて先は【富士市長 小長井 義正】宛てとする。
- ・道路の種類及び路線名は農道番号か、認定されていなければ認定外農道と記入。
- ・河川の種類及び名称は無名河川と記入。
- ・河川又は水路は下記のを基本とする。
公図上水路となっているもの
現況水路河床幅が60cm以上のもの
道路に面していない側溝等
- ・河川または水路の目的外使用を申請する場合河川占用の基準に準じること。
- ・道路の復旧については富士市道路復旧基準を遵守すること。
- ・目的外使用を行う物件の維持管理は申請者が行うこと。
- ・申請物件の構造については農政課土地改良担当職員と申請書の内容及び許可条件等については農政課管理担当とそれぞれ協議を行うこと。
- ・必要添付書類
 - ① 案内図（位置図）・・・当該箇所を朱塗りする。
 - ② 平面図・・・施工範囲など明記する。又、占用物件を朱塗りする。
 - ③ 断面図・・・掘削深、舗装復旧等の各寸法を明記する。又、占用物件を朱塗りする。
 - ④ 舗装復旧平面図・・・舗装構成を事前に確認し、明記する。（農道はL交通が主）
仮復旧、本復旧の両方明記する。
 - ⑤ 現地現況写真・・・写真に施工範囲等を色付けする。
 - ⑥ 公図写し・・・公図写しに占用物件を朱塗りする。
 - ⑦ 埋設物件確認書写し・・・道路掘削する場合は必ずライフラインの埋設確認をする
 - ⑧ 確認書・・・全面通行止をする場合は区長の合意を得る。
 - ⑨ 誓約書・・・目的外使用箇所の維持管理等を行う誓約書